

第 18 回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会）プレ大会 兼  
第 18 回全国障害者スポーツ大会フットベースボール競技  
北信越・東海ブロック予選会実施要領

1 競技規則

平成 30 年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、監督 1 名、コーチ 2 名以内および選手 15 名以内（男女は問わない。）とする。
- (2) 監督およびコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手の数、選手を兼ねる監督およびコーチを含め 15 名以内とする。

3 競技方法

- (1) 試合は、福井県チームを除くトーナメント方式とし、3 位決定戦を行う。また、トーナメント戦以外に福井県チームを含めた交流戦を実施する。
- (2) 試合は、7 イニング制とし、試合開始後 60 分を経過した後は、新しいイニングに入らない。
- (3) 同点の場合は、タイブレーカーにより試合を延長して行う。ただし、延長は 2 回を限度とし、延長開始後 15 分を経過した後は、新しいイニングには入らない。それでも同点の場合は、最終出場選手 9 名の抽選によって勝敗を決定する。
- (4) 3 回終了以降 20 点以上の差が生じたときは、得点差コールドゲームとする。また、降雨等の事情により試合の継続が不可能と判断された場合は、3 回以上の回の終了をもってコールドゲームとする。（決勝戦を含む。）
- (5) 指名選手（DP）および再出場（リエントリー）を採用する。
- (6) 試合球は、サッカーボール（ゴム製 4 号球）とし、主催者が用意する。

4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチおよび選手は、同色・同意匠ユニフォームを着用しなければならない。ただし、選手がショートパンツを着用するチームの監督およびコーチについては、上衣は同色・同意匠でなければならないが、下衣については、監督およびコーチのみで統一された、別のものを着用してもよい。また、男子は同じ帽子を着用しなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中と胸下につけなければならない。監督は 30 番、コーチは 31 番と 32 番、主将は 10 番とし、他の選手は 1 番から 99 番の番号とする。また、ユニフォームの左袖（左肩から 10cm 程度）に県・指定都市名を表示すること。
- (3) 靴は、運動靴または金属製以外のスパイクとする。

- (4) 危険防止のための手袋を着用してよい。ただし、投手は、灰色または白色以外のものでなければならない。

## 5 組合せ

組合せは、平成 30 年に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下、代理抽選の上、決定する。

## 6 打順表等

- (1) 打順表は、試合開始時刻 30 分前までに 5 部作成し、競技会場の競技本部へ提出する。

なお、打順表は監督会議において競技本部から配布する。

- (2) 攻守の決定は、打順表提出時に監督および主将の立会いの下、球審のコインのトスによって決定する。

## 7 その他

- (1) 監督会議は、競技開始前に行い、その場において申し合わせ事項を設けることができる。

なお、監督会議の時間および場所については別途通知する。

- (2) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを 1 塁側とする。
- (3) ベンチ内へは、監督、コーチ、選手、トレーナー以外は入ることができない。
- (4) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (5) 練習球は、各チームが用意する。
- (6) 少雨の場合は決行するが、荒天時他不測の事態が生じた場合等の取扱いは、主催者において別途決定する。